



333 East 47th Street
New York, NY 10017
japansociety.org

FOR IMMEDIATE RELEASE

<プレス・リリース>

プレス担当：

マリカ絵美 (EMarica@japansociety.org)

アリソン・ロッドマン (ARodman@japansociety.org)

ジャパン・ソサエティ(JS)
トーク+(プラス)

リビング・トラディションシリーズ
オンラインセミナー第二弾

『禅と日本の精神性』

10月19日(火) 午後7時00分～8時00分*米国東部標準時
午後4時～5時00分*米国太平洋時間



Photo credit: Daiko Matsuyama

JSは10月19日(火)、「リビング・トラディションシリーズ」の第二弾オンラインセミナー『禅と日本の精神性』を開催します。

禅とは何か？禅は、広く親しまれている言葉ではありますが、多くの人にとっては深く理解することが困難な言葉です。伝統的な宗教である禅は、日本文化や精神活動のみならず、西洋社会にも多大なる影響をもたらしました。JS及びポートランド日本庭園財団共催の「リビングトラディションシリーズ」の第2弾である本セミナーでは、松山大耕氏、目片祥子氏、デイブ・モーリン氏、ポール・S・アトキンス氏（モデレーター）をお迎えし、日本や西洋における禅に対する認識や役割、地域ごとの慣行の違い、そしてポスト・コロナ時代の禅の在り方について議論します。

アジェンダ： ディスカッション、Q&A 午後7時00分～8時00分（米国東部時間）/午後4時～5時00分（米国太平洋時間）

参加費： 無料 （参加には事前登録が必要です）

登録方法： [こちら](#)よりご登録ください。

*本オンラインセミナーはYouTubeにて配信します。事前登録いただいた皆様に、イベント当日に視聴リンクをお送りします。

*オンラインセミナー中は、YouTubeを通してスピーカー・モデレーターにご質問いただけます。

*本オンラインセミナーは、英語で行います。

スピーカー

【松山 大耕氏】

1978年京都市生まれ。2003年東京大学大学院 農学生命科学研究科修了。埼玉県新座市・平林寺にて3年半の修行生活を送った後、2007年より退蔵院副住職。日本文化の発信・交流が高く評価され、2009年観光庁 Visit Japan 大使に任命される。また、2011年より京都市「京都観光おもてなし大使」。2016年『日経ビジネス』誌の「次代を創る100人」に選出され、同年

より「日米リーダーシッププログラム」フェローに就任。2018年より米・スタンフォード大客員講師。2019年文化庁長官表彰(文化庁)、重光賞(ボストン日本協会)受賞。2021年より(株)ブイキューブ社外監査役、京都市教育委員会委員。

2011年には、日本の禅宗を代表してヴァチカンで前ローマ教皇に謁見、2014年には日本の若手宗教家を代表してダライ・ラマ14世と会談し、世界のさまざまな宗教家・リーダーと交流。また、世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)に出席するなど、世界各国で宗教の垣根を超えて活動中。

【目片 祥子氏】

ハーバード大学南アジア研究学部のアソシエート・指導員。大谷大学(京都)で2002年に文学士号、2005年に修士号を取得。2007年から2008年にかけて、東方学院(東京)のアジア研究奨学金制度でラサ、チベット大学で学ぶ。この期間、チベット語、宗教・近代文学を学び、論文のため実地調査を行う。2011年、チベット仏教釈迦族の初期の歴史、特に系譜に焦点を当てた論文にて博士号を取得。同年からシカゴ大学の南アジア研究委員会の準会員として所属し、2013年からハーバード大学の指導員(チベット語)として活動。現在、チベット歴史的資料に関する仕事に従事する。

【デイブ・モリン氏】

起業家兼投資家兼慈善家。オフライン・ベンチャーズの共同創業者兼マネージングディレクター。経験、教育、研究を通じて人間の可能性を探求し実現する大手機関エサレン協会の会長や、建築とデザインの国際コミュニティにサービスを提供するメディア企業 Dwell の役員を務める。

シリコンバレーの大手ベンチャーファンドのスローベンチャーズの創設者兼パートナーを務めたのち、2015年に Kakao に買収された Path の共同創設者兼 CEO を務める。

テクノロジー、起業家精神、文化、デザイン、写真、自然、スキー及び社会の改善に情熱を注ぐ。コロラド大学ボルダー校にて経済学の学位を取得。アップル社、フェイスブック社の急成長期に両社にて数年勤務。

モデレーター

【ポール・S・アトキンス氏】

ワシントン大学アジア言語文学科教授。スタンフォード大学にて日本文学博士号を取得。専攻は中世日本の文学、演劇、文化。著書に『Teika: The Life and Works of a Medieval Japanese Poet』（藤原定家研究、ハワイ大学出版局刊、2017年）、『Revealed Identity: The Noh Plays of Komparu Zenchiku』（金春禅竹の謡曲研究、ミシガン大学日本研究所刊、2006年）などがある。2011年、近松門左衛門作『長町女腹切』の英訳でウィリアム・F・シブリー記念日本文学翻訳賞をシカゴ大学東洋研究所より受賞。

本イベントは、全5回「リビングトラディションシリーズ」の第2弾として開催されます。

リビング・トラディションシリーズ

世界を惹きつけてやまない日本文化の精髓は、何世紀にもわたる伝統に根ざしていると言えます。「リビング・トラディションシリーズ」では、5つの異なるテーマについて多様なスピーカーを迎え、今日人々に親しまれている日本文化の諸相を歴史的に紐解きつつ、確固たる伝統が現代社会でどのように継承されているかを議論します。

取材お申し込み：取材のお申し込みは、プレス担当：マリカ（日本語）／ロッドマン（英語）までEメールで(Emarica@japansociety.org/ARodman@japansociety.org)ご連絡下さい。

本オンラインセミナーは、ポートランド日本庭園財団の共催及び日本政府の支援により開催しております。

ジャパン・ソサエティートーク+（プラス）プログラムは、MUFG (Mitsubishi UFJ Financial Group)及び ORIX Corporation USA のスポンサーにて開催しております。また、匿名ドナー、the

Sandy Heck Lecture Fund 及び, Helen and Kenneth A. Cowin 氏にも多大なご支援・ご協力をいただいております。

JSについて：

JS は、日本の芸術、文化、ビジネス、社会をニューヨーク及び世界の人々をつなぐ全米随一の規模を誇る日米交流団体であり、芸術と文化、公共政策、ビジネス、サステナビリティ、教育における革新的なプログラムを通じて、ニューヨーク市歴史的保存建築に指定されている JS 本部ビルからだけでなく、オンライン形式でも発信しています。1907 年以来、JS では「きずな（絆）」の考えのもとに、革新的な次世代クリエイターの支援、日米相互理解の促進、日本の多様性を深く理解しようと願う世界の人々にとって信頼できる案内役となること、そして日米間の相互理解の促進と絆を深めることを目指しています。拠点とするニューヨーク市でのつながりを一層強化することに加え、米国内外での新たな架け橋の構築にも取り組んでいます。詳細は www.japansociety.org をご覧ください。

JS は今年、ニューヨークのランドマークである本館設立 50 周年の記念して新しいロゴマークを導入いたしました。JS が文化や人種、時を超えてつながりを作っていく基盤となることを願い、「JS」の文字の重なりと線と形の連結を用いて、絆というコンセプトを打ち出しています。

公式 SNS アカウント：

Facebook：[facebook.com/japansociety](https://www.facebook.com/japansociety)

Instagram：[@japansociety](https://www.instagram.com/japansociety) and #japansociety

Twitter：[@japansociety](https://twitter.com/japansociety)

その他、詳しい情報は弊社ウェブサイト <http://www.japansociety.org> をご参照ください。

ポートランド日本庭園財団について：

ポートランド日本庭園財団は、第二次世界大戦後の日米両国間の文化理解の場として 1963 年に創立されたアメリカ合衆国の公益財団法人です。世界恒久平和の希求と二国間の人的交流、そして異文化理解の探求を礎に民間で発足した本財団は、時を経てポートランドを代表する庭園文化団体となり、日本国外にある中でも最も本格的な日本庭園と認められるまでに成長しました。年間来場者数 50 万人を超えるポートランド日本庭園は、憩いや癒しの場としての従来の庭園像だけでなく、広くアートや文化というレンズから見た各種プログラムを提供すると共に国境を超え、人類の多様性理解を深める多様なプロジェクトを推進しています。

庭園の最新情報は、[フェイスブック](#)、[インスタグラム](#)、[ツイッター](#)、[YouTube](#) をご覧ください。

###